

平成30年度 事業概要



国土交通省近畿地方整備局
六甲砂防事務所

目 次

I. 事業の概要

- 1. 事業の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2. 事業の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

II. 平成30年度の主な事業内容

- 1. 砂防施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 2. 六甲山系グリーンベルト整備の推進・・・・・・・・・・・・・8
- 3. 警戒避難体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 4. 砂防事業の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

III. 事務所の沿革と組織

- 1. 沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 2. 組 織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

I. 事業の概要

1. 事業の目的

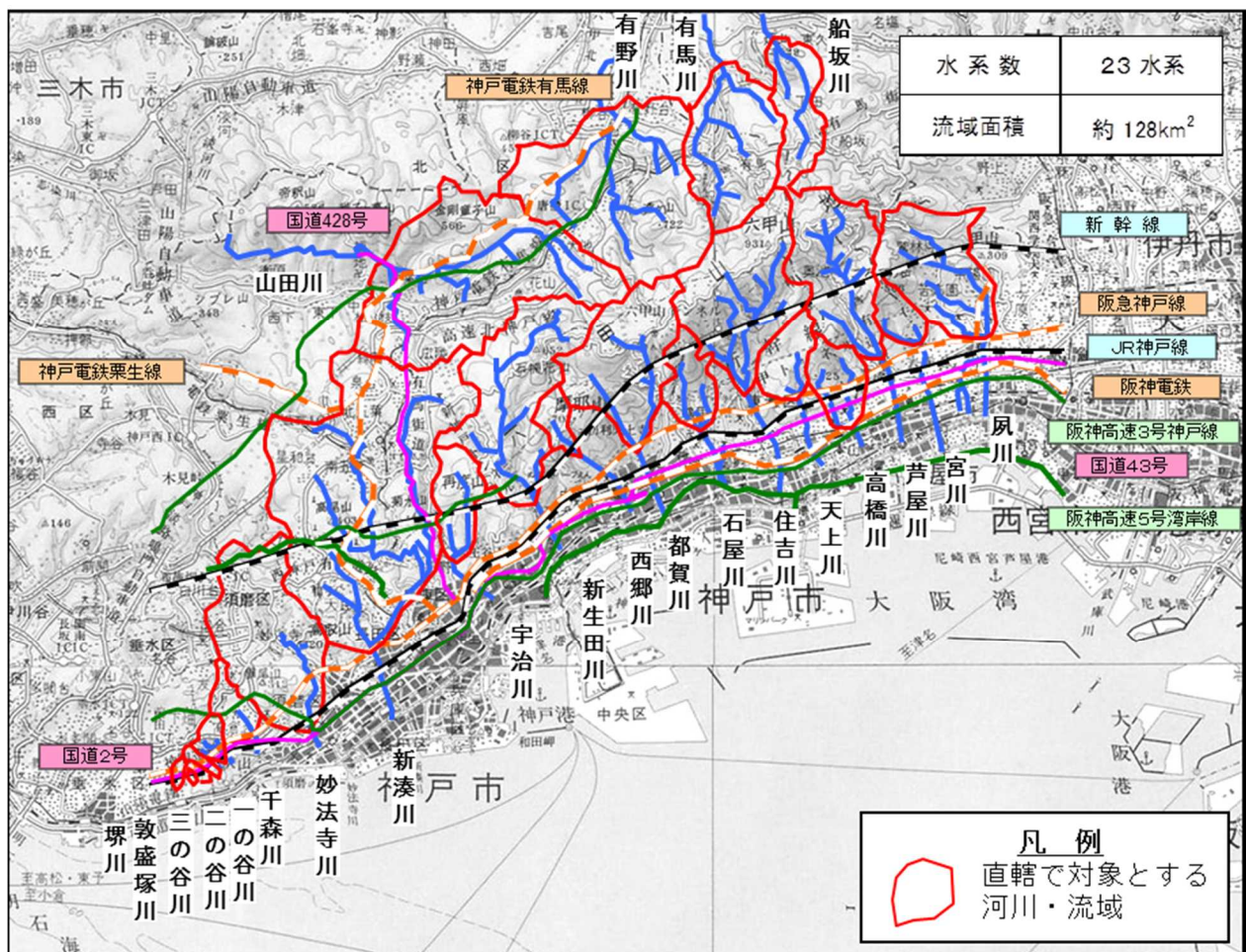
六甲山系は、東は宝塚市、西は神戸市垂水区に至る、東西約30kmに伸びる連山で、海岸線から僅か7km程度で標高931mの六甲山頂に至る程に急峻な地形です。地質的には、風化の進んだ花崗岩が主体を成しており、また、活断層が多数分布している関係から豪雨に対しては非常に脆弱です。

一方で、六甲山系の周辺は、市街化が極めて顕著であり、管内の神戸市、西宮市、芦屋市及び宝塚市には、約230万人の人々が生活しています。土地利用においては、平地部から山地部へと都市化が進行しています。

また、JR等の鉄道、国道2号等の道路、神戸港などの重要交通網が日本の東西経済交流を支えています。このことから土砂災害が発生した場合、甚大な被害が発生する可能性は非常に高いといえます。

六甲山系直轄砂防事業は、六甲山系における土砂災害から国民の生命・財産および重要交通網等の社会経済基盤を保全することを目的としています。

六甲砂防管内図



2. 事業の基本方針

六甲砂防事務所では、事業の目的のため、現在以下の3つの基本方針により事業を実施しています。

(1) 砂防施設整備

土砂災害を引き起こす危険性が高い箇所において砂防施設の整備を引き続き実施します。また、老朽化した基幹堰堤の補強・機能向上対策も実施します。

砂防施設の整備や堰堤補強に際しては、流木災害の防止対策を同時に実施します。

(2) 六甲山系グリーンベルト整備の推進

六甲山地へ拡大する市街地を、土砂災害から守るため、六甲山系グリーンベルト整備事業の推進に取り組みます。市街地に面する斜面の公有地化及び用地取得済み箇所の斜面对策・樹林整備等を実施します。

(3) 警戒避難体制の強化

土砂災害に対する地域防災力向上のため土砂災害関連情報の収集・分析・伝達の研究開発及び施設整備を図り、警戒避難体制の強化に努めていきます。同時に、土砂災害防止に向けた各種普及啓発活動を実施します。

Ⅱ. 平成30年度の主な事業内容

1. 砂防施設の整備

(1) 土石流危険渓流での対策工事の実施

土石流危険渓流の対策として平成29年度には下表に示す新規堰堤及び堰堤補強が完了しました。

平成29年度に完成した堰堤

| 位 置 | 水 系 | 箇 所 名 |
|-------|-----|--------|
| 神戸市灘区 | 西郷川 | 城下堰堤補強 |
| 西宮市 | 船坂川 | 船坂第十堰堤 |

平成29年度完成堰堤写真



城下堰堤補強



船坂第十堰堤



また、下表に示す新規堰堤及び堰堤補強等について、引き続き工事を推進します。

平成30年度の工事実施予定堰堤

| 位 置 | | 水 系 | 箇 所 名 | 備 考 |
|--------|-----|---------|-----------|-----------|
| 神戸市 | 東灘区 | 天上川 | 座福ヶ原堰堤補強 | H３０年度完成予定 |
| | | | 二楽堰堤補強 | H３０年度完成予定 |
| | | | 座福ヶ原第二堰堤 | |
| | 中央区 | 宇治川 | 再度谷堰堤 | H３０年度完成予定 |
| | 兵庫区 | 新湊川 | 菊水山第四堰堤 | |
| | 長田区 | 新湊川 | 雲雀ヶ丘堰堤 | |
| | 須磨区 | 妙法寺川 | 高取堰堤補強 | |
| | 北区 | 山田川 | 大池見山堰堤 | |
| | | | 大池見山東堰堤 | |
| | | | 丸山西堰堤 | |
| カツカ谷堰堤 | | | | |
| 古々山堰堤 | | | | |
| | 有野川 | 唐櫃金懸堰堤群 | | |
| | | 水無川西堰堤 | | |
| 芦屋市 | | 芦屋川 | 滝ヶ谷第二堰堤補強 | |
| | | 宮川 | 長背堰堤補強 | |

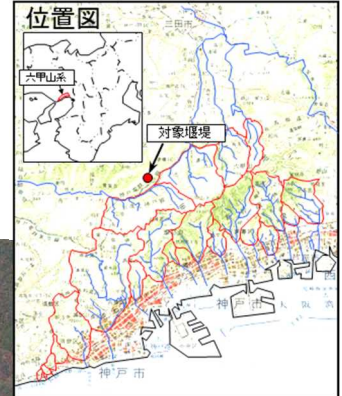
○ 主な平成30年度工事箇所

六甲山系 直轄砂防事業 (カツカ谷堰堤)

兵庫県 神戸市 北区 山田町 上谷上 花山台

○概 要

- ・当溪流は土石流危険溪流（加-神戸-I-10）となっています。
- ・流域内には、溪岸浸食および崩壊跡地が確認されるなど、土砂災害に対して危険な溪流のため砂防堰堤を整備します。

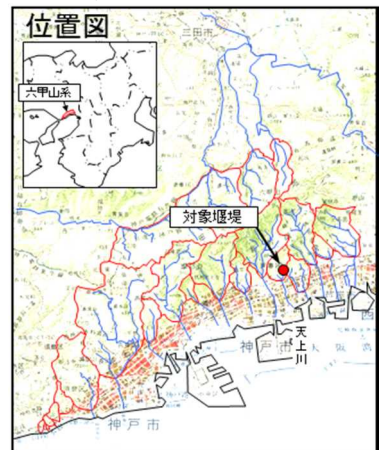


六甲山系 直轄砂防事業 （座福ヶ原堰堤補強）

兵庫県 神戸市 東灘区 本山町 田辺

○概 要

- ・当溪流は土石流危険溪流（I-232）となっています。
- ・神戸市の市街地に面する溪流であり、溪床及び溪岸斜面が急峻かつ直線的な地形であるため砂防堰堤を整備します。



S13 阪神大水害被災状況



（２）地震により発生した大崩壊地での対策工事

平成７年１月１７日に発生した兵庫県南部地震により崩落した神戸市中央区苧川谷山腹（平成１６年度に着手）等の対策工事として、鉄筋やネットで抑え、斜面の安定と緑化を実施しました。今後も必要な対策の検討を進めていきます。

三宮市街地から見た苧川谷山腹の状況



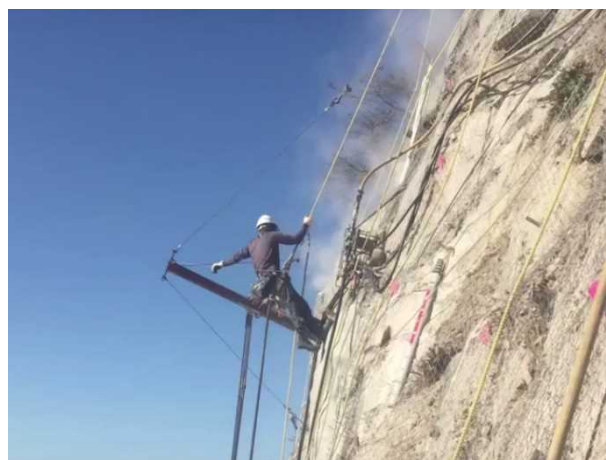
震災直後（平成７年２月）の写真



現在（平成３０年３月）の写真



施工状況（遠景）



施工状況（近景）

2. 六甲山系グリーンベルト整備の推進

(1) 危険な斜面の対策工事の実施

神戸市内の山麓部において、斜面崩壊から住宅地等を保全するための斜面对策工事を実施します。

工事はできる限り既存の樹木を残すことが可能な工法を選択し、健全な樹林帯を保全・育成していきます。

平成30年度斜面对策工実施予定箇所

| 位 置 | | 水 系 | 箇 所 名 |
|-----|-----|--------|-------|
| 神戸市 | 東灘区 | 天上川 GB | 保久良地区 |
| | | 高橋川 GB | 本山北地区 |
| | 灘区 | 都賀川 GB | 清水地区 |
| | | 石屋川 GB | 高羽地区 |

斜面对策の状況



高取中央地区



葺合地区

(2) 市民と協働による森づくりの推進

六甲山系グリーンベルト整備では、斜面对策工事等の他に良好な樹林整備を行っています。また、樹林整備の一環として、市民団体 27 団体・企業 18 団体・小学校 5 校等による森づくり活動への支援を実施し、市民と一体となった森づくりに取り組んでいます。

市民団体・企業・小学校等による森づくり活動の様子



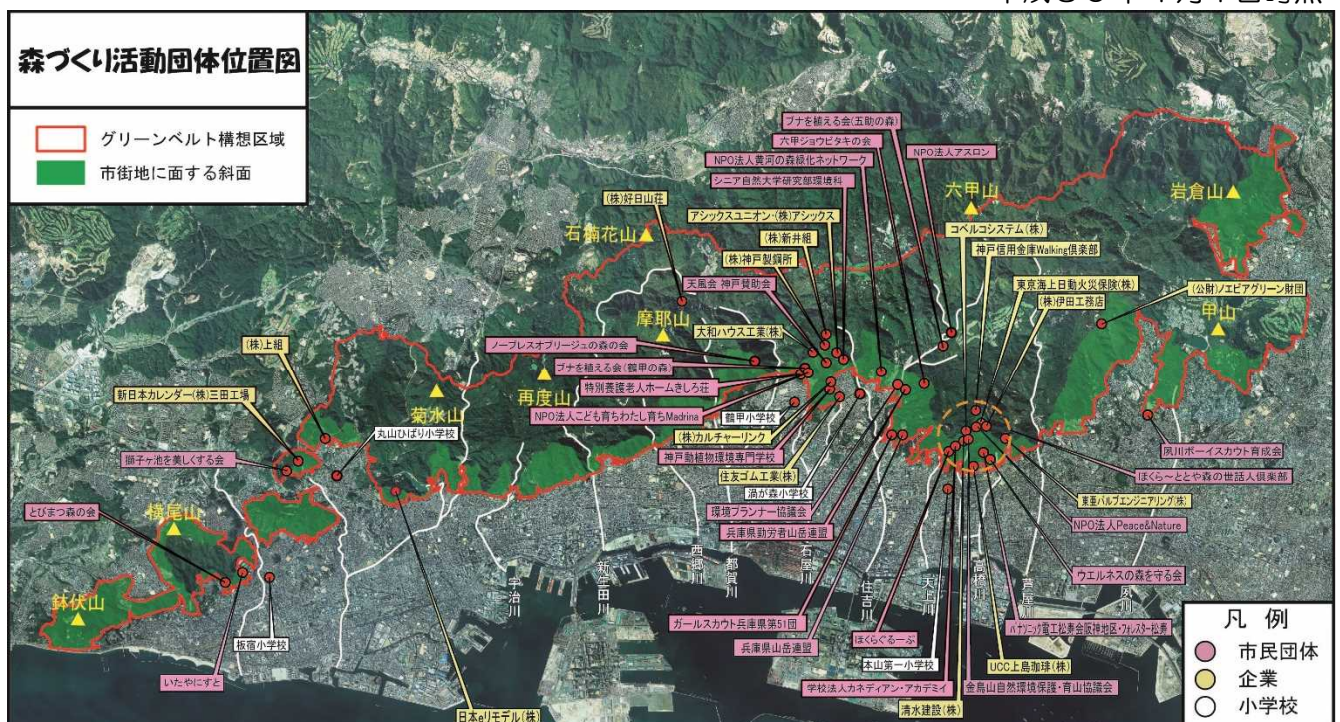
甲南女子大学との森づくり活動



小学生によるどんぐり育成プログラム

森づくり活動団体位置図

平成30年4月1日時点



3. 警戒避難体制の強化

(1) 防災情報の提供

ホームページや携帯電話を利用し、雨量などの防災情報の提供を引き続き実施します。

(2) 防災情報の共有化

災害時の防災情報の収集や災害活動を迅速に行うため、土石流監視カメラ等の観測情報を光ファイバーネットワーク接続により関係自治体との情報共有を引き続き実施します。

(3) 地域防災力向上のための取り組み

兵庫県、神戸市等関係自治体との連携強化、災害時に迅速な災害対応を実施するため、同時多発的な土砂災害を想定した県・4市との合同演習を開催します。

(4) 防災意識の普及啓発

1) 出前講座

住民の土砂災害の基礎知識の普及を目的として、土石流の模型実験やパネル・映像などを用いて職員等による出前講座を実施します。

2) 土砂災害防止月間（6月）

土砂災害防止月間（6月）には、土砂災害防止啓発チラシの配布や、阪神大水害や阪神淡路大震災の災害写真などを説明したパネルの展示を行います。

3) 講演会

今年度は阪神大水害（昭和13年）から80年となるため、土砂災害被災地域の教訓について学び、六甲山麓地域における土砂災害への警戒意識を育み、市民の皆さんと意見交換を行い地域防災力の向上をはかることを目的として各種広報活動を実施します。

4) 六甲砂防ウォーク

六甲山地の砂防事業について多くの方に知っていただくため、コース沿いに設置された砂防事業に関する説明ポイントを、巡りながら歩く現地見学会を実施します。



昭和42年六甲山系豪雨災害から50年講演会



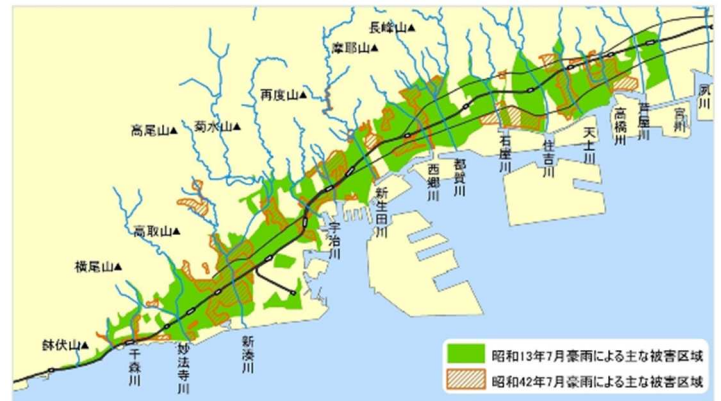
六甲砂防ウォーク

4. 砂防事業の効果

(1) 昭和13年と昭和42年の水害の比較

六甲山系はこれまでに何度も災害に見舞われ、中でも昭和13年と昭和42年の災害は特に甚大な被害を及ぼしました。

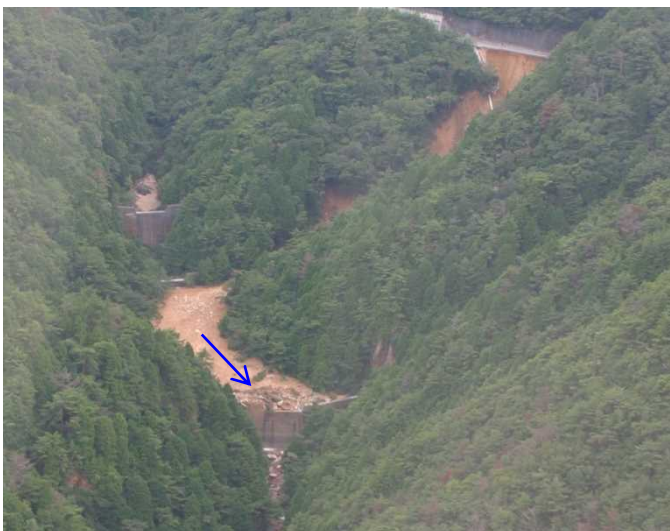
昭和42年の豪雨は、昭和13年の豪雨にくらべて総雨量はやや下回るものの、最大時間雨量はこれを上回りました。しかも山麓まで住宅化が進む中、人的被害が695名から98名、被害家屋約11万戸から約5.9万戸にとどまったのは、一夜にして12万立方メートルの土砂を受け止めた、五助砂防堰堤をはじめとする砂防施設の効果が十分に発揮された結果だと言えます。



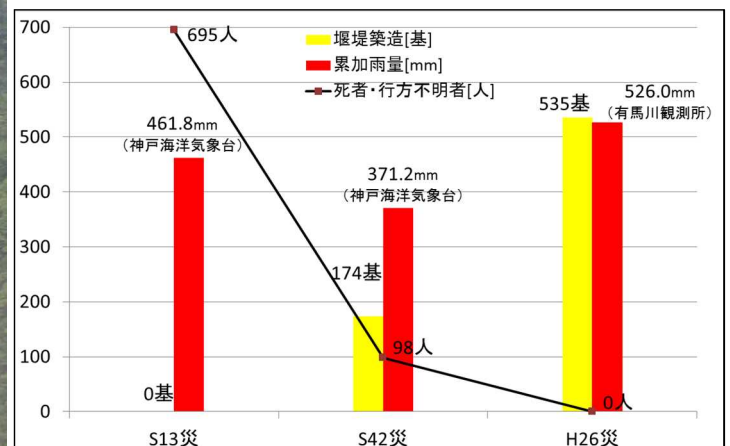
昭和42年災害前後の住吉川五助砂防堰堤

(2) 平成26年台風11号による災害で効果を発揮した砂防堰堤

平成26年台風11号による累加雨量、最大時間雨量は、六甲山系での既往災害を大きく上回りましたが、これまで継続してきた砂防堰堤の整備およびグリーンベルト整備による斜面对策・樹林整備の効果により、人的被害はありませんでした。整備済の箇所では、崩壊した約2万 m3 の土砂・流木を砂防堰堤により捕捉し、下流への被害を防止しました。



平成26年台風11号 土砂・流木補足状況



既往災害時の状況比較グラフ

Ⅲ. 事務所の沿革と組織

1. 事務所の沿革

(1) 沿革

昭和13年7月、阪神地域を襲った豪雨（阪神大水害）は、無数の山崩れ・土石流を生させ、阪神地方に莫大な被害を与えました。この災害を契機として、昭和13年9月に六甲砂防事務所が発足し、六甲山系において直轄砂防事業を実施しています。

| 年 月 | 六甲山系直轄砂防事業と主な災害 |
|----------|--------------------------------|
| 昭和13年 7月 | 阪神大水害、死者・行方不明者695名 |
| 9月 | 内務省六甲砂防事務所設置 |
| 昭和14年 5月 | 直轄砂防事業開始 |
| 昭和26年 4月 | 河川改修事業を県へ移管、引き続き受託で改修工事を実施 |
| 昭和36年 6月 | 梅雨前線豪雨、死者・行方不明者31名 |
| 昭和42年 7月 | 梅雨前線豪雨、死者・行方不明者98名 |
| 昭和47年 9月 | 宇治川調整池工事完成に伴い、県からの受託による改修工事は完了 |
| 平成 7年 1月 | 兵庫県南部地震、土砂災害による死者・行方不明者37名 |
| 平成 8年 3月 | 六甲山系グリーンベルト整備事業に着手 |

昭和13年7月の阪神大水害



中央区元町6丁目の惨状



JR三宮駅よりそごう附近を望む

昭和42年7月の梅雨前線豪雨災害



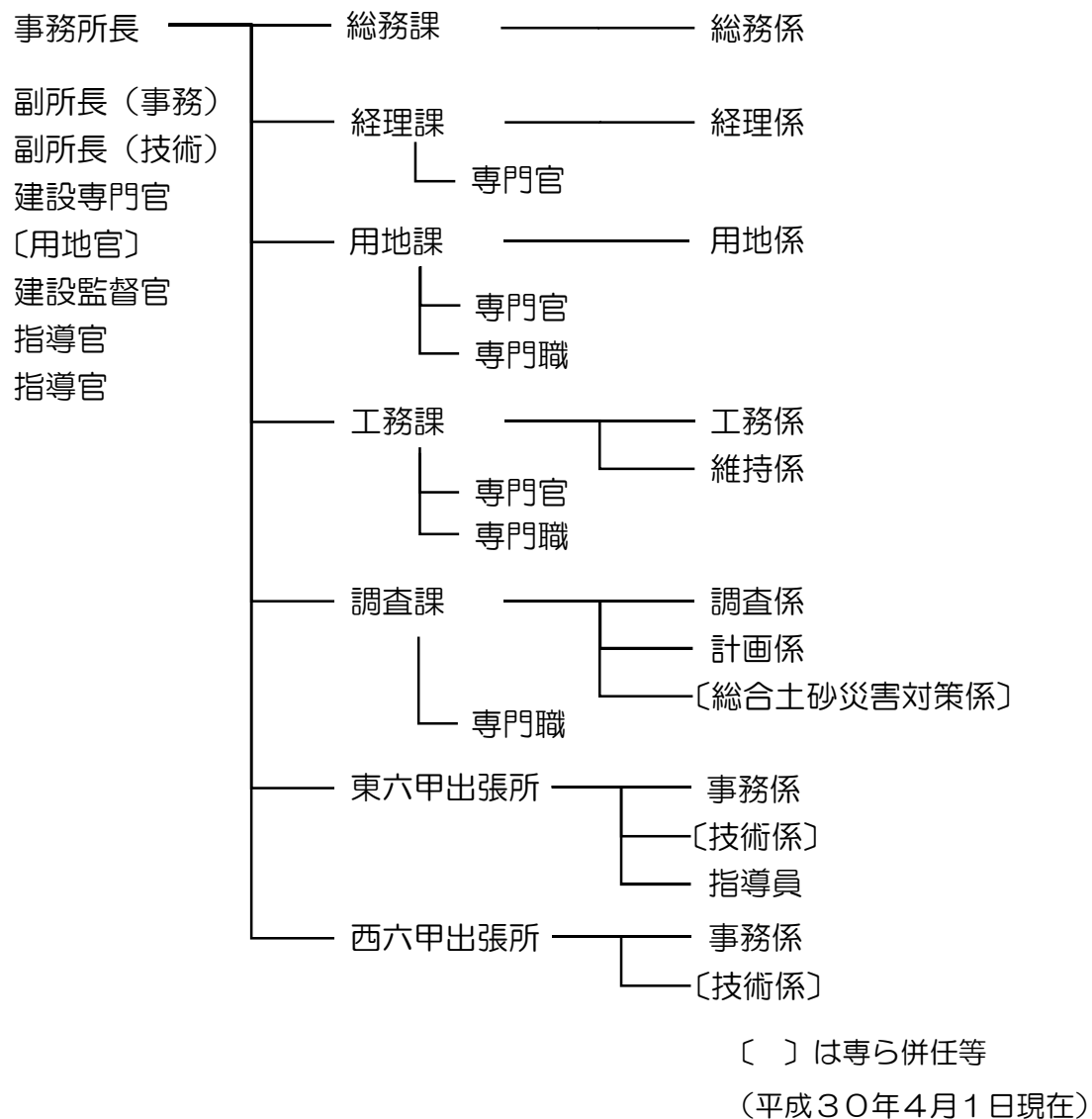
中央区北長狭通8丁目 JR 高架下の惨状



六甲ケーブル下駅から流出した土砂

2. 事務所の組織

(1) 組織図



(2) 各課の業務内容

総務課・・・・・・・・・・受付等所内総務、庁舎管理などに関する業務

経理課・・・・・・・・・・工事契約、物品購入に関する業務

用地課・・・・・・・・・・砂防工事に必要な土地の取得に関する業務

工務課・・・・・・・・・・砂防工事の設計と実施に関する業務

調査課・・・・・・・・・・砂防事業の調査・計画に関する業務

東六甲出張所・・・・・・・・砂防工事の監督業務

西六甲出張所・・・・・・・・砂防工事の監督業務



国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL : 078-851-0535 (代) FAX : 078-851-0828

E-mail : rokkosabo@lion.ocn.ne.jp

URL : <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>



西六甲出張所

〒654-0063 神戸市須磨区月見山町3-5-23

TEL : 078-731-2400 FAX : 078-732-9565



東六甲出張所

〒658-0072 神戸市東灘区岡本1-7-23

TEL : 078-451-6726 FAX : 078-412-6496

